



2025年5月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年7月11日

上場会社名 株式会社IKホールディングス
コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長野 庄吾
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜 TEL 052-380-0260
定時株主総会開催予定日 2025年8月22日 配当支払開始予定日 2025年8月25日
有価証券報告書提出予定日 2025年8月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期の連結業績(2024年6月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年5月期	15,211	8.3	425	24.5	416	22.4	321	40.1
2024年5月期	14,049	0.9	341	—	340	—	229	—

(注) 包括利益 2025年5月期 328百万円 (48.0％) 2024年5月期 221百万円 (—％)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年5月期	42.35	—	14.2	6.9	2.8
2024年5月期	29.79	—	11.3	5.3	2.4

(参考) 持分法投資損益 2025年5月期 —百万円 2024年5月期 —百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年5月期	6,077	2,388	39.1	315.03
2024年5月期	6,007	2,170	35.8	278.69

(参考) 自己資本 2025年5月期 2,374百万円 2024年5月期 2,148百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年5月期	105	28	185	474
2024年5月期	940	340	987	576

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00	38	16.8	1.9
2025年5月期	—	—	—	8.00	8.00	60	18.9	2.7
2026年5月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00		20.9	

3. 2026年 5月期の連結業績予想(2025年 6月 1日～2026年 5月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	8,120	11.8	230	123.3	220	122.2	150	15.4	19.90
通期	16,400	7.8	500	17.6	480	15.4	325	1.2	43.12

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 — 社 (社名)

除外 3 社 (社名)

アルファコム株式会社、艾瑞碧
(上海)化粧品有限公司、I.K Trading Company Limited

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2025年5月期	8,308,000 株	2024年5月期	8,308,000 株
2025年5月期	770,476 株	2024年5月期	597,076 株
2025年5月期	7,589,335 株	2024年5月期	7,702,990 株

(参考) 個別業績の概要

2025年5月期の個別業績 (2024年6月1日 ~ 2025年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期	803	17.5	123	60.1	55	17.1	37	26.6
2024年5月期	683	87.2	77	27.0	67	—	50	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期	4.91	—
2024年5月期	6.58	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年5月期	4,334	2,034	46.9	268.12
2024年5月期	4,728	2,105	44.1	270.29

(参考) 自己資本 2025年5月期 2,020百万円 2024年5月期 2,084百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値又は将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18
4. その他	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善及びインバウンド需要の拡大や名目賃金の上昇等はありませんものの、物価上昇による実質賃金の低下等もあり、景気は横ばいで推移し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはローリング方式による中期経営計画「IK WAY to 2027」を新たに策定し、飛躍のステージと位置付けました。その飛躍の中心となる商品が韓国コスメであり、拡販に向けて経営資源を投入し、ダイレクトマーケティング事業及びセールスマーケティング事業の両軸で経営成績の向上に取り組んでまいりました。

具体的には、最重点商品として位置付けている韓国コスメのブースアップを図るため、新たなブランド獲得に向けたブランドホルダーとの契約交渉を重ね、契約ブランド数を12ブランドまで順調に増やしてまいりました。

また、EC販路の強化を目的に2024年10月に事業の譲受けにより取得したWEBショッピングサイト「良い日々ショップ」の利益率改善やAmazon、楽天などのショッピングサイトモールで売上が拡大するなど、EC販路全体の売上は前期比18.6%増となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高15,211百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益425百万円（前年同期比24.5%増）、経常利益416百万円（前年同期比22.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益321百万円（前年同期比40.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。（売上は外部顧客への売上高を記載しております。）

・ダイレクトマーケティング事業

売上高は、TVショッピングでは引き続き媒体効率に注意しながら、引続き「Medifeel立体エアーマット」、「Medifeel立体エアレグ」などのストレッチ及びマッサージ系の商品放映に絞りました。化粧品SHOPにおいては、前連結会計期間末と比較して1店舗減少し、「BIOHEAL BOH」が1店舗、「hince」3店舗の合計4店舗となりました。これらにより、売上高は4,031百万円（前期比12.2%増）となり、営業利益は44百万円（前期比62.5%減）となりました。

・セールスマーケティング事業

売上高は、ドラッグストアやパラエティストア等に商品を卸す店舗ルートにおいて引続き韓国コスメの売上が大きく伸びましたことから、このルートにおける前期比は32.1%増となりました。また、新たな販路として育ててきましたコストコホールセールジャパン株式会社様への売上も順調に拡大しております。また、主力市場であります生協ルートにおいては営業強化を図りましたことから、微増いたしました。これらにより、売上高は11,177百万円（前期比12.3%増）となり、営業利益は1,030百万円（前期比29.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ193百万円増加しました。主な流動資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が240百万円、「商品及び製品」が197百万円それぞれ増加したことと、「現金及び預金」が102百万円減少したことによりです。

当連結会計年度末の固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ123百万円減少しました。主な固定資産の変動は、「無形固定資産」が116百万円減少したことによりです。

この結果、当連結会計年度末の総資産は6,077百万円となり、前連結会計年度末と比べ69百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債につきましては前連結会計年度末に比べ90百万円減少しました。主な流動負債の変動は、「短期借入金」が100百万円増加したことと、「1年内返済予定の長期借入金」が134百万円、「未払金」が81百万円それぞれ減少したことによりです。

当連結会計年度末の固定負債につきましては前連結会計年度末に比べ57百万円減少しました。主な固定負債の変動は、「長期借入金」が41百万円減少したことによりです。

この結果、当連結会計年度末の負債は3,688百万円となり、前連結会計年度末と比べ147百万円減少しました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては前連結会計年度末に比べ217百万円増加しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が279百万円増加したことによりです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、474百万円（前年同期は576百万円）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金の増加は105百万円（前年同期は940百万円の増加）であります。主な資金の増加要因は、税金等調整前当期純利益508百万円であります。また主な資金の減少要因は、売上債権の増加283百万円、棚卸資産の増加136百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金の減少は28百万円（前年同期は340百万円の減少）であります。主な資金の増加要因は、貸付金の回収による収入152百万円であります。主な資金の減少要因は、貸付による支出91百万円、有形固定資産の取得による支出61百万円、事業譲受による支出40百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金の減少は185百万円（前年同期は987百万円の減少）であります。主な資金の増加要因は、長期借入による収入550百万円であります。また資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出722百万円であります。

(4) 今後の見通し

今後における我が国経済は、企業収益の向上や所得・雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いています。一方、物価高による個人消費の弱い動きやエネルギー資源や原材料価格の高騰等、引続き先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループはローリング方式による中期経営計画「IK WAY to 2028」を策定し、成長のエンジンを①韓国コスメを主としたK-Beautyのリーディングカンパニー化、②EC事業の売上拡大、③海外事業の再構築と定め、新たな飛躍のステージに向けて挑戦してまいります。

韓国コスメのブーストアップでは、国内における韓国コスメの売上高No.1を目指すために、取り扱いブランドの拡充と見直しを行い、商品鮮度を維持しつつ店舗及びECでの販売を強化してまいります。

また、生協マーケットを主とするセールスマーケティング事業では、経営理念であります「ファンづくり」の実践として「お客様立場主義」の徹底を図り、お客様の求める商品ニーズを把握し、お客様からの更なる信頼獲得を得ることで、収益基盤の確立に努めてまいります。

さらに、海外事業は当社グループの拡大には欠かせないマーケットでありますことから、海外事業のリスクを最小化した上で、海外企業とのアライアンス等により、新たな商流を築いてまいります。

次期の通期連結業績予想は、売上高16,400百万円、営業利益500百万円、経常利益480百万円、親会社株主に帰属する当期純利益325百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応をしていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 5 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	576,295	474,101
受取手形及び売掛金	2,294,802	2,534,982
商品及び製品	1,775,236	1,972,792
原材料及び貯蔵品	14,870	18,486
その他	363,701	217,502
貸倒引当金	△1,080	△839
流動資産合計	5,023,827	5,217,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	268,334	256,683
減価償却累計額	△173,096	△171,861
建物及び構築物 (純額)	95,237	84,822
土地	80,216	80,216
その他	205,418	218,780
減価償却累計額	△161,547	△183,442
その他 (純額)	43,870	35,338
有形固定資産合計	219,325	200,377
無形固定資産		
のれん	80,339	36,332
ソフトウェア	327,235	254,251
その他	1,359	1,712
無形固定資産合計	408,934	292,296
投資その他の資産		
投資有価証券	24,428	24,428
長期貸付金	65,277	120,839
繰延税金資産	135,285	118,593
差入保証金	100,446	94,863
その他	40,213	37,949
貸倒引当金	△10,526	△29,372
投資その他の資産合計	355,125	367,301
固定資産合計	983,385	859,974
資産合計	6,007,212	6,077,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当連結会計年度 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	782,210	792,707
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	709,981	575,844
未払金	557,638	475,771
未払法人税等	66,289	125,348
賞与引当金	37,101	46,760
事業損失引当金	1,145	—
その他	327,975	275,652
流動負債合計	2,482,341	2,392,083
固定負債		
長期借入金	1,040,199	998,326
退職給付に係る負債	136,791	135,076
その他	177,634	163,512
固定負債合計	1,354,625	1,296,914
負債合計	3,836,966	3,688,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	620,949	620,949
資本剰余金	681,809	679,593
利益剰余金	1,075,646	1,354,965
自己株式	△219,322	△280,951
株主資本合計	2,159,082	2,374,556
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,144	—
その他の包括利益累計額合計	△10,144	—
新株予約権	21,306	13,445
純資産合計	2,170,245	2,388,002
負債純資産合計	6,007,212	6,077,000

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 6 月 1 日 至 2024年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2024年 6 月 1 日 至 2025年 5 月 31 日)
売上高	14,049,266	15,211,383
売上原価	8,203,921	8,990,016
売上総利益	5,845,344	6,221,367
販売費及び一般管理費	5,503,595	5,795,753
営業利益	341,749	425,613
営業外収益		
受取利息	618	905
受取家賃	597	597
為替差益	2,435	2,395
新株予約権戻入益	3,162	2,141
未払配当金除斥益	1,295	203
その他	1,873	1,558
営業外収益合計	9,983	7,801
営業外費用		
支払利息	10,692	14,987
退店違約金	620	—
事業損失引当金繰入額	362	854
その他	—	1,289
営業外費用合計	11,676	17,130
経常利益	340,056	416,284
特別利益		
商標権譲渡益	3,000	—
訴訟関連損失戻入額	14,611	15,103
関係会社株式売却益	—	93,358
特別利益合計	17,611	108,462
特別損失		
減損損失	46,592	16,074
特別損失合計	46,592	16,074
税金等調整前当期純利益	311,075	508,671
法人税、住民税及び事業税	103,573	170,607
法人税等調整額	△21,956	16,692
法人税等合計	81,616	187,299
当期純利益	229,458	321,372
親会社株主に帰属する当期純利益	229,458	321,372

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
当期純利益	229,458	321,372
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,799	6,629
その他の包括利益合計	△7,799	6,629
包括利益	221,659	328,002
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	221,659	328,002

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	620,949	681,430	846,187	△228,211	1,920,355
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			229,458		229,458
自己株式の処分		379		8,889	9,268
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	379	229,458	8,889	238,727
当期末残高	620,949	681,809	1,075,646	△219,322	2,159,082

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△2,344	△2,344	52,384	1,970,395
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				229,458
自己株式の処分				9,268
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△7,799	△7,799	△31,077	△38,876
当期変動額合計	△7,799	△7,799	△31,077	199,850
当期末残高	△10,144	△10,144	21,306	2,170,245

当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	620,949	681,809	1,075,646	△219,322	2,159,082
当期変動額					
剰余金の配当			△38,554		△38,554
親会社株主に帰属する当期純利益			321,372		321,372
自己株式の取得				△72,012	△72,012
自己株式の処分		△215		10,383	10,167
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△2,000			△2,000
連結範囲の変動			△3,498		△3,498
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△2,215	279,319	△61,629	215,473
当期末残高	620,949	679,593	1,354,965	△280,951	2,374,556

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△10,144	△10,144	21,306	2,170,245
当期変動額				
剰余金の配当				△38,554
親会社株主に帰属する当期純利益				321,372
自己株式の取得				△72,012
自己株式の処分				10,167
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動				△2,000
連結範囲の変動				△3,498
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	10,144	10,144	△7,861	2,283
当期変動額合計	10,144	10,144	△7,861	217,756
当期末残高	—	—	13,445	2,388,002

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年 6 月 1 日 至 2024年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2024年 6 月 1 日 至 2025年 5 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	311,075	508,671
減価償却費	97,164	131,652
減損損失	46,592	16,074
のれん償却額	36,974	23,583
株式報酬費用	△21,378	4,113
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	230	425
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,776	12,128
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18,719	△1,715
事業損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,876	△1,145
受取利息及び受取配当金	△618	△905
支払利息	10,692	14,987
為替差損益 (△は益)	210	700
商標権譲渡益	△3,000	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△93,358
売上債権の増減額 (△は増加)	△111,194	△283,607
棚卸資産の増減額 (△は増加)	473,977	△136,632
仕入債務の増減額 (△は減少)	109,832	35,616
未収消費税等の増減額 (△は増加)	28,016	20,893
未払消費税等の増減額 (△は減少)	68,169	△60,717
未払金の増減額 (△は減少)	77,805	△67,451
その他の資産の増減額 (△は増加)	△109,655	72,061
その他の負債の増減額 (△は減少)	△17,530	31,134
小計	1,000,547	226,512
利息及び配当金の受取額	618	887
利息の支払額	△10,673	△15,226
法人税等の支払額	△79,340	△111,994
法人税等の還付額	29,731	5,129
営業活動によるキャッシュ・フロー	940,883	105,308
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△122,189	△61,113
無形固定資産の取得による支出	△262,372	△16,297
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	16,727
貸付金の回収による収入	16,200	152,054
貸付けによる支出	—	△91,000
差入保証金の差入による支出	△6,792	—
差入保証金の回収による収入	31,300	11,000
商標権譲渡による収入	3,000	—
事業譲受による支出	—	△40,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340,853	△28,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	当連結会計年度 (自 2024年6月1日 至 2025年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,350,000	100,000
長期借入れによる収入	1,200,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△836,105	△722,999
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,280
自己株式の取得による支出	—	△72,652
新株予約権の発行による収入	995	—
配当金の支払額	△2,537	△38,430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△987,647	△185,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,010	6,629
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△395,626	△102,053
現金及び現金同等物の期首残高	971,922	576,295
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△141
現金及び現金同等物の期末残高	576,295	474,101

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「ダイレクトマーケティング事業」・・・TVショッピング、インターネットショッピング、有店舗での韓国コスメ販売等の小売事業

「セールスマーケティング事業」・・・生活協同組合、通信販売会社、小売店舗、海外パートナー企業等への卸売事業

「ITソリューション事業」・・・チャットシステム、音声通話録音システムの販売等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	ダイレクトマ ーケティング 事業	セールスマ ーケティング事 業	ITソリューシ ョン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,592,150	9,957,621	496,854	14,046,626	2,640	14,049,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	220,100	303,285	—	523,385	△523,385	—
計	3,812,250	10,260,906	496,854	14,570,011	△520,745	14,049,266
セグメント利益	119,618	797,412	23,223	940,254	△598,505	341,749
セグメント資産	1,448,616	4,116,552	144,249	5,709,418	297,793	6,007,212
その他の項目						
減価償却費	1,521	6,600	3,345	11,467	85,697	97,164
のれん償却額	16,180	12,000	8,794	36,974	—	36,974
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	71,173	4,613	1,509	77,296	48,827	126,123

(注) 1. (1)セグメント利益の調整額△598,505千円は、主に各報告セグメントに配分していない持株会社運営に係る全社費用であります。

(2)セグメント資産の調整額297,793千円には、セグメント間消去△4,430,350千円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,728,144千円が含まれております。

(3)減価償却費の調整額85,697千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額48,827千円は、報告セグメントに帰属しない持株会社の設備投資であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	ダイレクトマ ーケティング 事業	セールスマー ケティング事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,031,472	11,177,681	15,209,153	2,230	15,211,383
セグメント間の内部売上高又は振替高	838,785	261,538	1,100,323	△1,100,323	—
計	4,870,257	11,439,220	16,309,477	△1,098,093	15,211,383
セグメント利益	44,839	1,030,212	1,075,052	△649,438	425,613
セグメント資産	1,160,804	4,461,956	5,622,761	454,238	6,077,000
その他の項目					
減価償却費	26,048	5,617	31,666	99,986	131,652
のれん償却額	16,583	7,000	23,583	—	23,583
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	43,094	6,213	49,308	16,769	66,078

(注) 1. (1)セグメント利益の調整額△649,438千円は、主に各報告セグメントに配分していない持株会社運営に係る全社費用であります。

(2)セグメント資産の調整額454,238千円には、セグメント間消去△3,879,925千円、各報告セグメントに配分していない全社資産4,334,164千円が含まれております。

(3)減価償却費の調整額99,986千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16,769千円は、報告セグメントに帰属しない持株会社の設備投資であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 従来、報告セグメントとして記載しておりました「ITソリューション事業」については、アルファコム株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、当連結会計期間より除外しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

(単位：千円)

	ダイレクトマーケティング事業	セールスマーケティング事業	I Tソリューション事業	全社・消去	合計
減損損失	46,592	—	—	—	46,592

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

(単位：千円)

	ダイレクトマーケティング事業	セールスマーケティング事業	全社・消去	合計
減損損失	16,074	—	—	16,074

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

(単位：千円)

	ダイレクトマーケティング事業	セールスマーケティング事業	I Tソリューション事業	全社・消去	合計
当期償却額	16,180	12,000	8,794	—	36,974
当期末残高	49,889	7,000	23,450	—	80,339

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

(単位：千円)

	ダイレクトマーケティング事業	セールスマーケティング事業	全社・消去	合計
当期償却額	16,583	7,000	—	23,583
当期末残高	36,332	—	—	36,332

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年6月1日 至 2024年5月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年6月1日 至 2025年5月31日）

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年 6 月 1 日 至 2024年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2024年 6 月 1 日 至 2025年 5 月 31 日)
1 株当たり純資産額 (円)	278.69	315.03
1 株当たり当期純利益 (円)	29.79	42.35
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益 (円)	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、前連結会計年度及び当連結会計年度について、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1 株当たり当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年 6 月 1 日 至 2024年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2024年 6 月 1 日 至 2025年 5 月 31 日)
(1) 1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	229,458	321,372
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	229,458	321,372
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,702,990	7,589,335
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	—
(うち新株予約権 (株))	(—)	()
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第 2 回新株予約権 新株予約権の数 1,310 個 (普通株式 131,000 株) 第 4 回新株予約権 新株予約権の数 995 個 (普通株式 99,500 株)	第 2 回新株予約権 新株予約権の数 1,310 個 (普通株式 131,000 株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。